

終わり無ければ すべて無し

終わり無ければ すべて無し

やるべきか、やめるべきか、それが問題か？

蔵重  
智

劇団「カトリハナビ」の座長「マイケル若村」が急逝して3週間後のお話  
劇団「カトリハナビ」公演「シン・ハムレット」初日開幕3時間前の劇場

【登場人物】

しのぶ	松崎しのぶ	主役	ハムレット役	ひかりの妹
まりあ	桜田まりあ	演出助手	ガードルード役	
ゴロー	月島吾郎	舞台監督	クローディアス役	座長の弟
ひかり	鶴崎ひかり	女優	オフィーリア役	しのぶの姉
だいすけ	柳大輔	大道具	ポローニラス役	
しんちゃん	桐谷信也	小道具	レアティーズ役	
まこと	菊池まこと	制作	ホレイショー役	
マダム	蝶野蘭子	脇役	フォーティンブラス役	他
女将	鹿島好子	脇役	ローゼンクランツ役	他
ママ	猪本美喜子	脇役	ギルデンスターン役	他

狂言回し

本作品の進行役

第1場 前口上

開演前、狂言回しが観客席最前列に現れる。

狂言回しの語るハムレットのストーリーに合わせ

役者たちは自分の役を演じていく。

狂言回し 3分でわかるハムレット

狂言回し

デンマークの王子様 ハムレット。

留学先でデンマーク王、つまり父ちゃんの訃報を知ります。

急いで帰ってみますと、あらビックリ。

王宮では父ちゃんの葬式ではなく、

王の弟、つまり叔父さんが

王の座に就いているではありませんか？

さらに、王妃、つまり母ちゃんはその叔父さんと再婚し、

まさにお祝いパーティーの真っ最中でした。

父ちゃん死んで、叔父さん王になり、母ちゃん再婚、

トリプルショックのハムレット！

それだけでも大変なのに、

父ちゃんの亡霊が夜な夜な現れると聞き、確かめに行きます。

「亡霊があらわれた」

「話す」

「私はお前の父だ」

「ノー！」

父ちゃん幽霊の言うことにや

お昼寝中に叔父さんに毒殺されたんだと。

父の復讐を誓ったハムレットは、

狂ったふりをして、その真相を突き止めようとします。

ただ、親友だけにはたとえ自分が狂ってるように見えても、

信じてほしいと、

これから起こる事を見届けて欲しいと伝えます。

王と王妃はハムレットが狂ったと心配。

でも、大臣は独自の推理をします。

自分の娘はハムレットの事が好き。ハムレットも娘が好き。

自分の違いで実らぬ恋ゆえ狂ったと推理。

大臣は娘に様子を探らせます。

本当は娘の事が好きなハムレット。だけど、無下に扱います。

ツンデレ、ツンのみ！

ハムレット、旅芸人に頼んで、父ちゃん殺害再現ドラマを上演。怒る叔父さん。でも、母ちゃんも怒ってハムレットを説教。その様子を隠れて盗み聞きしていた大臣をハムレットは王と誤って殺してしまいました。

さあ、ここからは不幸のドミノ倒し。

大臣の娘は失恋と父の死亡のショックで溺れて死んじやった。

娘のお兄さん、父と妹をハムレットに殺され怒り心頭。

そこに叔父さん来て、

「ユー、殺つちやいなよ！

フェンシングの試合中、事故にみせかけて。」

「じゃ、自分の剣に毒塗ろう。」

「いいねー！ 念のため、勝利の酒にも毒いれよ！」

「イェーイ！（ハイタッチ）」

さあ、試合ははじまるが

母ちゃん、毒入りとは知らずに酒を飲んで死んじやった。

お兄ちゃんも試合中、剣が入れ替わって死んじやった。

そして、ハムレットは王を殺して復讐達成！

しかし、ハムレットも毒の剣で傷を負い、その命は風前の灯。

今際の際、事の顛末を語り伝えてくれるよう親友に言い残し、死んじやいましたとき。

おしまい

狂言回しは、そのまま観客に話しかける。

ハムレットを演じた役者たちはそのまま舞台に残っていて、

ハムレットのラストシーン（フォーティンブラスの登場）を演じている。

狂言回し

本日は当劇場にお越しいただき、まことにありがとうございます。まもなく開演いたしますが、

みなさま、心の準備はいかがででしょうか？

これから、お芝居の世界が繰り広げられます。

嘘のような本当のお話、本当のような嘘のお話。

みなさまも「お芝居」の世界を楽しみにしているからこそ

今、ここに集っていることと思えます。

狂言回し

さて、みなさま。こんなことを考えたことはないでしょうか？  
「舞台の裏の世界では、どんなことが起きているのだろうか？」  
ちよつと覗いてみたことはありませんか？  
見てはいけない、知ってはいけないからこそ、  
見てみたい、知ってみたいくなるのが、人間ってものです。  
そうでしょ？

狂言回し

もちろん、これは野暮なことかもしれません。  
しかし、観客のみなさまが望む世界を、  
この舞台の上からお贈りするのが、  
わたくしども「演劇」に関わる者の役目でもあります。  
よろしければ、みなさまの眼と耳と心を  
拝借させていただきたいと存じます。

狂言回し

さて、これからこの劇場で上演される演目は  
劇団「カトリハナビ」による「シン・ハムレット」！  
あの名作「ハムレット」をもとにした  
劇団オリジナルの作品でございます。  
本日はなんと、その初日。  
そして、本番を直前に控え、いままさに「ゲネ」、  
つまり「本番同様のリハーサル」が終わったところから  
お話を始めたいと思います。

狂言回し

あつ？ わたくしですか？  
わたくしはいわば、語り部、進行役、狂言回し。  
みなさまを未知の旅へと導く水先案内人でございます。  
みなさまからは、私は見えておりますが、  
「舞台の上にいる者」からは見えていないという  
お約束のお役目でございます。

狂言回し

それでは、みなさま、  
こつそり、ゆったり、しっかりとお楽しみください。

狂言回し 去る。

第2場 舞台

「シン・ハムレット」の舞台装置が組まれている舞台上。  
抽象物による王宮の間のセットが組まれている。

舞台上には出演者たちが集合している。

舞台監督のゴローが出演者を前にして仕切っている。

ゴロー とりあえず、ゲネ無事通りました。

お疲れ様！

役者たち、それぞれ安堵の表情となる。

ゴロー 照明、音響 なにか問題あり？

照明、音響 オツケーの声だけ聞こえる

ゴロー あとで打ち合わせるから、飯、先に食つといて。

まこと 受付に届いているはずですか？

ゴロー ゴローさん、受付の準備もあるので、抜けてもいいですか？

まりあ そうか。まりあ、演出面から何かある？

特にないです。みんなには個別にダメ出しとくので、

ここはスタッフ連絡のみで。

まこと じゃ、すみません。受付に行ってきます。

みなさん！ 劇団「ラブユー川崎」様から

ミネラルウォーターの差し入れをいただきました。

舞台裏のボックスに入れといたので、

みんな自由に飲んでください。

まこと あと、みなさん、本日の初日、まだ席が空いています。

かなり空いています。結構空いています。ギガ空いています。

本番までまだ時間がありますので、がんばって宣伝してください。

お願いいたします。

切実なまこと。 真摯に受け止める人もいれば、そうでない人も。

まこと もし、お客様から予約の連絡があったら、

受付まで連絡お願いします。

まこと 去る。

ゴロー

小屋入りでも説明したが、  
楽屋狭いので、舞台上も本番までは楽屋にしとく。  
2時間くらいはここを自由に使っていていいから。  
でも、あまり汚さないように。

あと、大道具とかくれぐれも壊さないように。

だいすけ

大丈夫だよ。壊れても、オレがすぐに直すから。

ゴロー

だいちゃん、テーブルと椅子を持ってきて

だいすけ

了解。オレにまっかせて。なんでもやっちゃおうよ。

ひかり

ゴローさん、張り切り過ぎて、また腰やらないでね。

だいすけ

大丈夫、大丈夫。

手の空いてる人、運ぶの手伝って。

あつ、ひかりちゃんはいいいから。力仕事はまかせて。

マダム、女将、ママ 手伝って！

マダム

なんで私たちになるのよ？

だいすけ

いいから、いいから。

だいすけの指示で、テーブルと椅子が運ばれる。

ゴロー

あと、しんちゃん？

しんちゃん

はい

ゴロー

小道具、チカラ入ってるね。

しんちゃん

いえ、大したことないです。

ゴロー

でも、あれはないでしょ？

毒が入っている酒瓶。

しんちゃん

何か問題ありました？

ゴロー

大ありだよ。いいか？

あれはハムレットを毒殺するための酒が入っているんだよな？

しんちゃん

そうです。

ゴロー

だよな。暗殺のための酒瓶だよな。

それにどうして堂々と「ドクロマーク」あるかな？

しんちゃん

だって、毒入りでしょ？ リアルでしょ。

ゴロー

・・・とにかく、ラベルはなし！

テープでも貼って隠しといて！

しんちゃん

はーい。(不服)

各自、準備に向けてせわしく動いている。  
その様子をながめるゴロー。

ゴロー

みんな一旦手を置いてくれ。  
「シン・ハムレット」は間もなく開演する。

この本番を一番待ち望んでいたのは、  
マイコー、いや、座長だと思う。

この作品は 座長 マイケル若村 の遺作となってしまうた。  
これからもずっと、一緒に作品を作っていきかけた。

みんな哀しいだろうし、  
劇団もどうなるだろうと不安になったと思う。

だが、オレはみんなを守るためにも、座長代理となった。  
しかし、座長の弟というだけで、

マダム

このポジションを引き継ぐには正直オレは不安だった。  
万歳、ゴローちゃん、座長の弟！

女将

万歳、ゴローちゃん、舞台監督！

ママ

万歳、ゴローちゃん、座長代理！

ゴロー

黙れ、キングギドラ！

叱られる3人。

ゴロー

でも、みんなのおかげで、なんとかここまでたどり着いた。  
オレはなんて素敵な仲間を支えられていることか。

だから胸を張って言える。

この作品は「カトリハナビ」の代表作になると思う！

みんな、ありがとう。

マイコーもきつとよろこんでくれると思う。

拍手。ただ、しのぶだけは、黙っている。

ゴロー

まりあ、何か言うことある？

まりあ

え！ いや。私はいい。

ゴロー

照れるな、まりあ。

カトリハナビの聖母さま、マリアさま。

どうか、この劇団を導きたまえ。

まりあ

ゴロー、ちよっとはしやぎ過ぎ。

ゴロー

いや、申しわけない、マリアさま。

ひとり、テンション高いゴロー。それに迎合するだいすけ。

だいすけ

よーし、やったるで！

しんちゃん

しのぶちゃん、頑張りましょう。

しのぶちゃんのハムレット、とつてもカッコいいですよ。

だいすけ いや、主役！  
ゴロー 任せたぞ、しのぶ。

みんなに拍手され、挨拶せざるをえなくなった しのぶ  
ゆっくりとセンターに立ち、みんなを見る。

しのぶ 座長はもういないのに

この「カトリハナビ」は残っている。

座長はもういないのに

なぜかみんなは演劇を続けている。

座長はもういないのに

この芝居の幕が開こうとしている。

しのぶ ……私、この芝居に出ません。降ります。

しのぶ 舞台から去る。呆然とする一同。

しんちゃん しんのぶちゃん！

マダム あら？

女将 まあ？

ママ どうして？

まりあ え？ なんで？

だいすけ どどどど、どうしよう、ゴローちゃん？

ゴロー いや、それは・・・

ひかり しんのぶったら！

だいすけ しんのぶちゃんが出ないって、どうするの？

マダム 主役だよ。もう本番だよ。お芝居どうするの？

女将 できないわよね。

ママ 主役降板？

マダム 公演中止？

だいすけ そりゃ、まずいでしょ。

ゴロー しんちゃん、なにか聞いている？

しんちゃん 知りませんよ。ゲネだって、いつものしのぶちゃんでしたよ。

まりあ そうね。文句ない演技だった。

だいすけ v

ゴロー ひかり、何か聞いていたか？

ひかり 知らないわよ。姉妹だからって、私、保護者じゃないんだから。

だいすけ まあ、時々とんでもない事を言いだす子だけど。

ひかり とんでもないって？

・・・いや、まあ、とにかく、

みんなに迷惑がかかることを言い出したりするのよ。それで、よくケンカになったりしたけど。

しんちゃん

ひかり 別の取っ組み合いとかしないわよ。

ゴロー まあ、いつも口喧嘩で、最終的には私が言い聞かせて終わりだけど。まあ、大丈夫だ。あれだ。

初めての主役だし、プレッシャーもあったからな。まあ、ほんとに辞めやしないだろ。

だいすけ さすがに公演中止なんて事、本気で考えてはないだろう。そうだよな。あんなにまじめに稽古に励んでいたしのぶちゃんが

ゴロー 舞台出ないなんてことないよな。そうだよな。それはみんなも稽古場で見てただろ。あいつは真面目だから、

だいすけ それこそ、自分の演技に納得いかなかったんだろうよ。オレもそう思ったね。

ゴロー まあ、本番までは3時間もあるし、

しのぶも、落ち着いたら、自分から撤回するだろうよ。

とはいえ、しのぶも照れ臭いだろうから、

みんなも、しのぶが戻ってきたら、温かく迎えてやれよ。

おれたちは家族だ。どんなことでも乗り越えられる。

だいすけ

ゴロー まあ、そうだな。そういうことだ。よろしく頼む。

まりあ、これからちよつと小屋主さんのところに行ってくる。

一緒に来てくれないか？

まりあ

ええ。

### ゴロー、まりあ 去る

だいすけ 大丈夫だよ。しのぶちゃん、あれだよ、あれ。

バーサスになっっているんだよ。

しんちゃん それを言うなら、ナーバスです。

だいすけ そうそれ！ ナーバス、ナーバス。

そりや大変なんだから、主役のプレッシャーは。

しんちゃん だいすけさん、主役やったことあるんですか？

だいすけ ないよ。でも、ひかりちゃん、主役って大変だよな。

ひかり いや、私も主役はやったことないから、わからないけど、

でも、大変なのは確かだね。

だいすけ でしょ。大変なんだよ。

それにさ、座長も亡くなって1か月も経ってないだしさ。

しんちゃん しのぶちゃんも悩んでいたんですよね。

マダム  
ボクも自分のことばかり考えていて恥ずかしいです。  
んー、ちよつと待って。

ひかり  
マダム  
しのぶちゃんには、しのぶちゃんなりの考えがあるんじゃない？  
しのぶちゃんはいつも全力で取り組んでいたの見てたでしょ？

女将  
マダム  
あなたたちだって、もう辞めたいって思ったことあったでしょ  
ええ、まあ

マダム  
だいですけ  
しのぶちゃんもそんな気持ちが今、ピークになっただけかもよ？  
じゃあ、マダムたちはこの公演がなくなってもいいんですか？  
そんなことはないわよ。

マダム  
だいですけ  
でも、一番大事なのは  
この公演をやる、やらないってことじゃなく  
ことじゃなく？  
みんなの人生、面白く生きればいいのよ！

奇声をあげて笑う、マダム、女将、ママ

しんちゃん  
マダム  
出た、出た。キングギドラの三魔女。

マダム  
ノン、ノン、ノン！

我ら、スナック「キングギドラ」を支える三大女神！  
マダムのラン！

女将  
ママ  
女将のスー！

ママ  
ママのミキ！、

三人  
お黙り、小僧！

再び、奇声をあげて笑う、マダム、女将、ママ

だいですけ  
いや、笑いごとじゃないでしょ。ひかりちゃんなんか言ってるよ。

ひかり  
雇い主には逆らえませぬ。ノーコメント。

しんちゃん  
しのぶさん、真剣に悩んでいるんですよ。

マダム  
だからこそよ。真剣だろうが、ふざけていようが

女将  
決めるのはしのぶちゃんであって

ママ  
他人の私たちがあれこれ決めることはできないもん。

マダム  
私たちができることと言ったら

女将  
楽しいお話と

ママ  
楽しいお酒！

マダム  
そういえば、持って来た？

女将  
もちろん！

ママ  
この通り！

コンテナボックスを出すママ

だいすけ まさか、それ、お酒？  
マダム ノン、ノン、ノン！

女将 よく、見なさいよ。このボトルはミネラルウォーター。  
でもその中身は 命の水

ママ オー・ド・ヴィー

ひかり 持ち込むのはいいけど、本番中に呑まないでね。

三人 えー！

ひかり 当たり前でしょ。

三魔女の暴走は続く中、場は受付に移る。

第3場 受付

劇場の受付。まことがいる。  
舞台から降りてきた しのぶ がやってくる。

まこと 何？ どうしたの、しのぶちゃん、神妙な顔して？

まこと ま、まさか・・・キャンセル？

しのぶ まあ、そうかな？

まこと あー、そうか。やっぱり。

しのぶ まあ、仕方ないよね。お客様にはお客さまの都合があるもんね。

まこと あ、いや、お客様じゃなくて、わたし

しのぶ だから、しのぶちゃんのお客様のキャンセルでしょ。

まこと わたし・・・

しのぶ わたし？

まこと さん、わたし、言っちゃった。

しのぶ 何を？

まこと この芝居 やめる！！

しのぶ えっ？

まこと この芝居 やめるの。

しのぶ えっ、それって降板ってこと？

まこと うん、やるのも悲劇、やめるのも悲劇。

しのぶ だったら、やめる悲劇を私は選択する。

まこと ちよつと、ちよつと待とうか。

しのぶ しのぶちゃんは頭の中で十分理解しているようだけど、

まこと 自分はしのぶちゃんの頭の中はわからないから、

しのぶ まったくもって理解不能。

まこと 私って、おかしい？ 気が狂ってる？

しのぶ いや、そうじゃなく。じゃ、順序立ててみよう。

まこと なんて、やめるって決めたの？

しのぶ 昨夜ね、

まこと 昨夜、

しのぶ ・・・・座長に会ったの。

まこと は？

しのぶ 昨夜、私のところに会いに来たの。

まこと ちよつと待って。ほんと？

しのぶ ほんと。

まこと やだ、そういうのやめて。オカルトじゃん。

しのぶ いや、夢の話。

まこと 頼むから、最初にそれ言って。怖いから。

まこと それで、夢で座長が出てきたわけだよね。

しのぶ

そう。いつものように稽古場に現れてね、みんなを呼ぶの。しのぶ、ゴロー、ファミリア、ひかり、だいちゃん、しんちゃん、まこと、マダム、女将、ママ。

まこと

それで？

しのぶ

その後に、こう言うの。

まこと

「勇気を無くす事は死ぬ事も同じだ。臆病者は何度も死ぬがいい」

「ジュリアス・シーザー」だ。

しのぶ

そして

まこと

「やるべきか、やめるべきか、それが問題か？」って

しのぶ

やるべきか、やめるべきか？

まこと

それが問題か？

しのぶ

どういうこと？

まこと

わからない。でも、いつもの座長だった。

しのぶ

にこやかにしているけど、何があってもまっすぐなあの目。

まこと

うん。

しのぶ

そこで目が覚めたんだけど。

まこと

でね、なんか気づいたの。

しのぶ

ここまでなんか惰性でやっていたんじゃないか？って。

まこと

惰性ね。

しのぶ

座長が急にいなくなつて、

否が応でも私たちの周りには大きく変わっているはずなのに、なんか今まで通りに幕を開けようとしている。

これってなんか惰性っていうか、

なんかこのままじゃいけないんじゃないかなって。

この夢見ながら、ずっとこの疑問が頭の中にあつた。

アクセルを踏みっぱなしで突進しているような感覚。

だから、ここで勇気を出してブレーキを踏んでみた。

そうか。

まこと

正直言つて、演劇をやるなんて狂気の沙汰だよ。

しのぶ

演劇だけで食っていけるわけじゃないのに、

時間もお金もかなり費やしている。

はつきり言つて生産性ゼロのブラックホールだよ。

いや、それでプロになろうというならいい。

でも、さっきのゲネでも見たように、

しつかりやっている人もいれば、

手抜きとしかみえないような人もいる。

まこと

ああ、それはわかる。

しのぶ

確かに「カトリハナビ」は演劇好きが集まった

アマチュア劇団だけどね、

みんなは本心どう思っているだろうかなんて、

私の中でむくむく膨らんで、さつきゲネ終わった時に、「やめる」って口に出ちゃった。やっぱり私って、おかしい？ 気が狂ってる？

まこと  
しのぶ  
まこと  
「ごめんね、まことさん。謝ることはないよ。」

「しのぶちゃん降板」や「公演中止」については演出部のまりあさんや座長代理のゴローさんの判断次第だから。自分はその判断に従って、的確な仕事を行うだけ。すごく冷静！

しのぶ  
まこと  
それが制作つてもん。最悪のシナリオの覚悟はいつもできている。というか、この劇団、毎回なんらかのトラブル起こすから、もう慣れっただけだね。

しのぶ  
まこと  
まことさん、なんか楽しそう。え、そう？ なんか、スイッチ入ったかも？ あの、制作としてではなく、まことさん個人としては、どう思ってる？ それ、聞く？

まこと  
じゃ、ここだけの話。「よく、言った！」  
実は今回の公演に関しては、自分もモヤモヤがあったわけよ。今回、座長の「追悼公演」ってことも、

しのぶ  
まこと  
オープンにしようと思ったら、ゴローさんが猛反対したんだ。「座長の死を宣伝に使う気か」って。そんなことが

別に自分も宣伝に使いたいわけじゃなく、自分たちのけじめとしてお客様に伝えたかっただけなんだけどね。でも、ゴローさんとしては

しのぶ  
まこと  
「過去に縛られてはいけない。オレたちは未来を進むんだ」って。だから、そんなのもいらないって。そこがずっとモヤモヤしていた。そう。そこなの。

座長が亡くなっても、本番は近いからってすぐ稽古が再開した。最初はとにかく「座長がいなくても本番をやらなきゃ」って稽古頑張った。みんなもそうだった。

でも、稽古が進むほどに、どんどんできあがるほどに違和感というか、しっくりこないのが。みんな、どこかでモヤモヤしはじめた。でも、それを言えないまま、ここまで来てしまっているような。

まこと  
しのぶ

あつ、だから座長が夢にまで出てきて言ったのかも。  
いや、それは怖いから。

わかっている。これは私の思い込みかもしれない。  
座長を見たのは自分だけだし、

私って、おかしい？ 気が狂ってる？

まこと

大丈夫。礼儀正しく狂ってる。

演劇やってる奴は基本どこかが狂ってるもんだから。

しのぶ

まことさんも？

まこと

自分も礼儀正しくクレイジーだから。

しのぶ

しかし、「夢で見た」じゃ、みんなを納得させられないね。

まこと

そうなの。でも、これから、みんなに確認してくる。

まこと

まことさん、これから何があっても、信じて。

しのぶ

わかった。しのぶちゃん。

まこと

自分にできることがあつたら、何でも言っつてね。

しのぶ

まことさん、ありがとう。

まこと

いやいや、そういう性分だから。

受付から去る二人。

第4場

舞台

舞台上のテーブルを囲んで、

ゴロー、まりあ、ひかり、だいすけ、しんちゃん がいる。

しんちゃん　しのぶちゃん、大丈夫かな？

だいすけ　そうだな。しのぶちゃん、オービスになってるからね。

しんちゃん　ナーバスです。・・・まだ戻ってきませんね。

ひかり　結構頑固者だからね。

まりあ　説得するにも生半可ではだめでしょうね。

だいすけ　座長はいないけどみんなで頑張ろう！　って言っても

まりあ　劇団の中では、しのぶが一番座長を慕ってたからね。

しんちゃん　やっぱ、原因は座長がいない事ですかね？

ゴロー　あの言い方なら、そうだろうな。

まりあ　しのぶはオレのこと嫌いなんだろうな。

ゴロー　そうみたいね

まりあ　はつきり言うなよ。これでも傷つきやすいんだぞ。

ゴロー　そりゃ、オレ、座長に向いてないけどさ。

まりあ　座長【代理】でしょ！

ゴロー　ああ、代理だよ、代理。でも俺がちゃんとしないと

まりあ　この劇団がバラバラになっちまうだろ。

まりあ　しのぶから見たら、ゴローが乗っ取ったように見えたのかもね。

マイコーの弟である事をいいことにして、

マイコーの作った劇団を乗っ取った。

ゴロー　そんなことはない！

そりゃたしかに最初はマイコーと二人で立ち上げたけど、

マイコーが座長やるから、オレに手伝えっていうから。

私も旗揚げメンバーなんですけど。

ゴロー　あ、すまん。

だいすけ　じゃあ、しのぶちゃんに、

ゴローちゃんは乗っ取る気なんてないって言えば解決じゃない。

素直に聞いてくれたらね。

あぁ、そうか・・・（しんちゃんを見て）あれ、だもんね。

しんちゃん　・・・ナーバス。

だいすけ　だったら、ひかりちゃんから言ってみたら。

姉妹なんだから、オレたちよりは話を聞いてもらえるだろう。

えー。いや、それは無理かも。

ひかり　なんで？

だいすけ　姉妹だからって、別に仲良しってわけじゃないし。

ひかり　もうずいぶん一緒に暮らしてないし。

だいすけ しんちゃんの方がよっぽどしのぶと話しているんじゃない？。  
そうなの？

しんちゃん え？ そうですか？

ひかり 稽古場でもあんまりしのぶと話さないから、

だいすけ お店でしんちゃんから聞いて、しのぶの事を知ってるって感じ。

しんちゃん しんのぶちゃんと付き合ってるの？

だいすけ えー、いや、そ、そんなこと、ありませんよ。

しんちゃん 付き合うだなんて。たまたまですよ、たまたま。

だいすけ なーんだ。つまらない。

しんちゃん つまらないってなんですか！

まことが舞台に入ってくる。

まこと ゴローさん、今、いいですか？

ゴロー なんだ？

まこと しのぶちゃんが話したいとのことですよ。

一同、顔を見合わせる。

まりあ いま、しのぶ、どこ？

まこと 受付にいます

ゴロー わかった。ここで話をするから、呼んでもらえないか？

まこと わかりました。伝えます。

まこと 去る。

ゴロー じゃ、ひかり、頼んだ！

ひかり えっ？

ゴロー まずは、お前がしのぶと話してくれ。

ひかり いや、しのぶはゴローさんと話したいんですよ

ゴロー 頼む。オレだと絶対ややこしくなる。こういうの苦手なんだ。

だいすけ ひかりちゃん、頼むよ。

ひかり いやいやいやいや

しんちゃん お願い、ひかりさん。

ひかり なんです？

ゴロー ということで、任せた！ 俺たちは隠れて聞いているから。

ひかり まったく。どうなっても知らないから。

ゴロー、だいすけ、しんちゃん テーブルの下に隠れる。

ゴロー (口パクで) まりあ!  
まりあ え? 私も。  
ゴロー (口パクで) はやく!  
まりあ えー!

まりあも隠れる。  
仕方なく、しのぶを待つ ひかり。  
しのぶ、舞台に入ってくる

しのぶ あれ? ひかり?  
ひかり ゴローさんはいないよ。  
しのぶ なんて?  
ひかり さあ、私が代わりに話しを聞くことになったから。  
しのぶ 私はゴローさんに話しがあるの。  
ひかり ……ほんと、いつもそうだったね。  
ひかり みんなで動き出そうとすると、決まって待ったをかける。  
どうしていつもそうなの。

(無視)

しのぶ あの時もそう。おじいちゃんの還暦祝い。  
ひかり みんなでお寿司を食べようって出掛けようとしたら、  
ハンバーグがいいってあんたがゴネて。  
結局、みんなでハンバーグよ。

しのぶ 一つの話をしているの?  
ひかり 食い物の恨みは忘れられるか!  
しのぶ いつまでその話を蒸し返すの?  
ひかり いつまでもよ。私はお寿司を食べられるって期待で  
胸いっぱいだったのに。

しのぶ それが、それが、いつものハンバーグだなんて・・・  
ひかり まったくしつこいっいたらありやしない。  
しのぶ そっちは気まぐれすぎ。しかも、グズ。  
ひかり うるさい!

しのぶ 本番どうする気? 公演中止にしたいの?  
ひかり なぜ、この局面になって言い出すの。  
しのぶ 子供じゃないんだから、言い出すタイミング逃したのだから、  
そこは我慢するってもんでしょ。

しのぶ お姉ちゃん面しないでよ。  
ひかり お姉ちゃんなんでもん。  
しのぶ じゃあ、私は、このままモンモンとした気持ちを呑み込んで、  
黙って、お姉ちゃんにとってよき妹を演じればいいってこと?  
ひかり 我慢ってそういうこと?

ひかり

そうは言っていない。

でも、あんたが「やめる」なんて言い出して、みんな困ってる。自分だけでなく、周りもちゃんと見て

じゃあ、ひかりは私をちゃんと見ている？

え？

ひかり  
しのぶ

ひかりは私をちゃんと見ていたの？

ひかり

何言ってるの？ 見てるに決まってる。

しのぶ

嘘。ぜんぜん見ていない。稽古中も、本番も。

稽古終わったら、さっさといなくなるし。

ひかり

そりゃ、お店に行かないと。

マダムたちだって一緒にお店に出るんだし。

あんたもお店に来りゃいいじゃん。

だいちゃん、しんちゃんもいるよ。

しのぶ

私はお酒呑めないし、

だいたいあそこじゃうるさくて話しもできないでしょ。

ひかり

そうだけど・・・

しのぶ

ひかり、キングギドラのホステスの仕事って、楽しいの？

ひかり

あそこで知り合いに囲まれてチャホヤされて、それでいいの？

いいじゃない。みんな楽しんでるんだし、わたしもそれで楽しい。

マダムのお誘いがあったから、興味本位ではじめたけど、

女優と同じく、これが私の天職だと思ってる。

女優ね・・・なんか、ひかりの学芸会、思い出した。

なに？

ひかり

白雪姫の女王役、やったよね。鏡よ、鏡よって。

しのぶ

それこそ、いつの話しを出してるの？

ひかり

あれ、すごくよかった。観客の注目を浴びてたよね。

しのぶ

あと、シンデレラの継母とか、アリスのハートの女王とかも、

みんながスゴイって褒めてたよね。

全部、主役じゃないし、敵役。

ひかり

ボッコボコにやっつけてやりたいくらい嫌な奴だった。

しのぶ

私だって、主役のお姫様やりたかったわよ。

きれいな、かわいいねって言われたかったよ。

でも、どういうわけか、ヒール専門。

そりゃ、演技力あがっていくわさ、

しのぶ

ただ立ってるだけでも注目を浴びる主役に勝つためにはさ。

だから、私にとって、ひかりは輝いていた。

私にはできないなあと思っただし、見ているだけで十分だった。

じゃ、なんでいまやってるの？

ひかり

ひかりが劇団を手伝ってくれて言ったじゃない。

しのぶ

だから、私ができる範囲でって、はじめたのよ。

衣装とか、受付とか、そばで見て、手伝えればよかった。いつの間にか、舞台に出るようになって、今回主役よ。主役って、別に主役になりたいって一言も言っていない。座長がニヤニヤしながら、「今回は主役頼んだよ」って。それだけ。

でも、なりたくないとも言っていないんだろ？

・・・

座長が私に頼むのだから、私にもできるのかもしれないと思った。稽古が進んでいく中で、少しずつ私も自信がついてきた。でも、今は座長はいない。

だから、やめるって？ 甘えるな！  
えっ？

ひかり  
しのぶ  
ひかり

やめる決心があれば、やめればいい。

やる気がなくなったら、やめたほうがいい。

しのぶはどっちなの？

やめる決心なの？ やる気がなくなつたの。

そのどちらもないなら、中途半端だ。

「やる気のある奴」と「やめる気のない奴」が演劇をやってるんだよ。

しのぶ

なんでそんなに単純に考えちゃうの？

簡単に結論出して行動しちゃうの。

それがひかりの悪いところじゃん。

あつさり仕事辞めたり、離婚したりしてさ。

みんなに迷惑かけてるのは、ひかりも同じだよ。

それとこれは関係ない！ バカ！

バカって言った方がバカだつてよく言ってくせに。

そんな理屈っぽいから、いまだ男運が巡って来ないんだよ！

そっちは、男運悪すぎでしょ！

無いよりマシ！

量より質！

ゼロでしょうが！

そっちはマイナスでしょ。

ひかり  
しのぶ  
ひかり  
しのぶ  
ひかり  
しのぶ  
ひかり  
しのぶ

客観的には情けなく、みっともない姉妹喧嘩となっている。それでも、折れることなく、しのぶはひかりに向かっていく。

しのぶ

とにかく、やるのも悲劇、やめるのも悲劇なら

私はやめる悲劇を選ぶ。そう決めたの。

わかってもらえなくてもいい。

私はやる悲劇を選択したくないだけ。

みんなに迷惑かけるのは悪いけど、覚悟は持っている。  
こうしないと、私が私でなくなるから。  
ごめんね。いつも理解不能なことばかりして。  
まったく。あんたはこうと決めたら、絶対変えないから。  
この頑固もの！

・・・でも、考えあつてのことだな。

(うなづく)

まったく、しのぶらしいよ。

ひかり・・・

ひかり、ゴローさん、捕まえて、

その溜まっている考えをぶつけて来い。

無理して我慢して、いい妹になろうと思わなくていいから。

逆に、もうそんな遠慮はいらないだろう、お互いに。

なんなら、もう姉妹やめるか？

・・・やめられないよ、それは。

えっ？

仲良くしようが、喧嘩をしようが、

一緒に暮らしていようが、別々に暮らしていようが、

苗字が変わろうが、私たちは姉妹でしょ。

ひかりは姉で、私は妹で、

悲しいけど、これは変わることは決してないし、

どちらかが死んでも、姉妹だし、

ふたりとも死んでも、姉妹であることはかわらない。

・・・

姉妹は「やる」ものでなく。「ある」ものだから。

これは舞台じゃない。幕が下りても、終わらない。

しのぶ

ひかり  
しのぶ

でも、ありがとう。少し楽になった。  
けど、もうちよつとだけ考えさせて、お姉ちゃん。

しのぶ。去る。残される ひかり。

ひかり  
やるのも悲劇。やめるのも悲劇か・・・

隠れていた、ゴロー、まりあ、だいすけ、しんちゃんが出てくる。

しんちゃん  
しのぶちゃん・・・

だいすけ  
なるほどな。

まりあ  
どうするの？

ゴロー  
しのぶの悩みはわかった。今度こそ俺が説得する。

まりあ 大丈夫？

ゴロー 大丈夫だ。俺に任せろ！ 心配するな！  
まりあ それが心配なのに。

ひかり、おもむろに、キングギドラ寄贈のコンテナを開け、  
水に偽装した酒を一気にあおる。

ひかり ふう・・・落ち着いた。さすが、命の水。

だいすけ ちよつと、ひかりちゃん。大丈夫？

ひかり 大丈夫よ。ちよつと、外の空気吸ってきます。

ひかり、タバコを吸うポーズをする。

まりあ マダムたちいたら教えて。

しんちゃん あ、さつき買出し行ってくるって言っていましたよ。

まりあ もう・・・

ひかり、酒を持ったまま、退場。

残った人は、ゴローの周りに集まる。

幕間

狂言回し 舞台に出てくる。

狂言回し おやおや、みなさん。

やはり覗き見はお好きなようで。

狂言回し

かくして「カトリハナビ」は本番前にして私たちから見たら、どーでもいいようなことで揉めております。でも、彼らにとつては、一所懸命なのです。そこはご理解願います。

役者つてのは「嘘つき」ではなく、

「正直になれない人たち」ですから。

狂言回し

さて、いよいよ、しのぶとゴローの対決でございます。みなさま、リングサイドでお楽しみください。

狂言回し

さて、寄ってらっしゃい、観てらっしゃい。これより行われるは、

劇団「カトリハナビ」のこれからをかけた座長代理と主役の、かくも馬鹿らしく虚しい対決を

「劇中劇」にてお送りいたします。

観客置き去りのおちやらけ討論会。

やるべきか、やめるべきか、それが問題か？

客はこれからどうなるか知りたいだけ。

狂言回し

さあ、世紀の劇中茶番劇のはじまり、はじまり。

狂言回し 去る。

第5場

舞台

舞台上に集まっている

しのぶ、ゴロー、まりあ、だいすけ、しんちゃん、まこと。  
まるで、王への謁見みたいな構図。

ゴローが玉座の位置。隣にまりあ。傍にだいすけ。

しのぶが謁見しており、しんちゃん、まことはそれを見ている。

「劇中劇」ゆえ、今までとは違い、芝居がかった演技になっている。

ゴローとしのぶが意見する度に、まわりはざわめく。

ゴロー

おお、カトリハナビの此度の芝居を支えている英雄　しのぶ　よ。  
そなたの導きなければ、この劇団はなり立たぬ。大儀である。

しかし、聞くところによると、何か私に話したいことがあるとな。

この私に何か不満でもあるのか？

しのぶ

いえ。この世界に何も不満に思うことはありません。

ただ一つ、私が不満に思うは、

己が眼（おのがまなこ）が、なかなか正直者を映さないこと。

右を向いても、左を向いても、真つ暗闇ではございせんか。

ゴロー

それは難儀なこと。

そなたの眼にかなう正直者はどこにおろうぞ。

しのぶ

残念ながら、私は私の眼に映すことはできず、

私が正直者かどうかも定められませぬ。

なるほど。それは困ったことだ。

だから、私は改めました。

ゴロー

改めたと？

しのぶ

はい。私にしか見えぬ、皆に見えぬのなら、

私は皆に見えるようにと、今まで努めてまいりました。

しかし、それはあまりにも途方もないことです。

なので、私が見た正直者は、幻だったと考える事にいたします。

一夜の夢。覚めてしまったら、もうどこにも残らない。

取り戻したくとも、二度と取り戻せない。

であれば、見てない皆とも同じこと。

何も波風立たず、すべては治まりましょう。

ゴロー

そなたの苦しみ、わかるぞ。

いや、そなたは自分を封じ込めることはない。

ありのままに、ありのままでよい。

我らに見えぬのは、我らの至らさゆえ。

我らの至らぬところを、教えてはもらえぬか。

しのぶ

わかりませぬか？

ゴロー

わからぬ。我も正直者であろうとするからこそ、

しのぶ  
ゴロー  
そなたに尋ねておる。  
なぜ正直者であろうとするのですか？  
あたりまえだ。

この劇団という国を治めるに、民の信頼無くしてどうする？  
民の信頼を得るに、正直者でなくてどうする？  
先代を亡くした上に、この劇団まで失うわけにはいかぬ。  
そのためには、何にでもなろう。  
真摯に寄り添い、前向きに検討し・・・

しのぶ、通常の立ち振る舞いになる。

しのぶ  
ゴロー  
嘘！  
えっ。

正直者になりたいって、ほんと？  
じゃあ、今までは嘘ついていたってこと？

ゴロー  
しのぶ  
いや、そういうことじゃなく・・・  
(ぼそっと) どこを見ているんだ？  
「臆病者は何度も死ぬがいい。」

まりあ、しのぶを叱る。

まりあ  
ゴロー  
まりあ  
しのぶ！  
まりあ・・・  
ゴローはもう黙ってて。  
しのぶとは私が話すから。

ゴロー  
まりあ  
ゴロー  
いや、待ってくれ  
出てっ！

まりあ  
だいすけ  
まりあ  
だいすけ  
えー！  
Get Out!  
まあ、ゴローちゃん、ここはまりあさんに任せて。  
他のみんなもよ。

しんちゃん  
まりあ  
しのぶ  
しのぶ  
それが望みなら。  
まあ、ここはまりあさんにまかせましょう。  
しのぶ、それでいい？

まりあ と しのぶを残して、みんな去る。  
ただ、だいすけ だけ、こっそりテーブルの下に隠れる。

まりあ 大きく深呼吸をする。

まりあ

しのぶ、ごめんね。

ゴローがあいかわらずポンコツで。

彼は彼なりに考えているんだけど、

選ぶ言葉がなんというか・・・

知ってる。

しのぶ  
まりあ

本人もそれを知ってるんだけどね。

もうちよつとは成長してほしいな。

痩せても枯れても座長代理なんだから。

しのぶも まりあ に同意してる。

まりあ

いろいろ言いたいことはあると思う。

でも、先に一つだけ言っておくね。

ゴローに座長代理を頼んだのは私。

ゴローは別に座長の座を奪いたかったわけじゃない。

でも、私はまりあさんが座長をやるもんだと思ってたから、

たしかに、今いる劇団創立メンバーは、私かゴローだもんね。

じゃ、どうして。

まりあ  
しのぶ

マイコーが急にいなくなつて、

正直どうしていいかわからなくなった。

この公演もそうだけど、

劇団そのものをやめるべきか、悩んだ。

だよ。

しのぶ  
まりあ

それで、私が出した結論はね、

「劇団はやめない。公演もやる。」

これで覚悟を決めた。

なんで。

まず、劇団をやめない理由はね、

それは「ゴローのため」でもあるの。

！

しのぶ  
まりあ

(しのぶを制して)

この劇団が無くなつたら、ゴローはどこにも行けなくなる。

しのぶは舞台監督のゴローしか知らないだろうけど、

実はこの劇団入る前のゴローは、いわゆる「引きこもり」。

マイコー曰く、仕事でボロボロになつちやつたんだって。

ゴローもああ見えても、結構真面目だから、

いろいろな悩みを抱えちやいがちなだろうね。

そこで、マイコーはゴローをカトリハナビに引き込んだってわけ。

ほんと、今じゃ大声出して仕切っているけど、

しのぶ  
まりあ

最初のころはもうオドオドしてた。  
まあ、今でも声はでかいけど、結構目が泳いでるし  
だね。

でも、マイコーもびっくりしてたよ。

自分の想像超えてたって、うれしそうに話してくれた。

だから、私はこの劇団では、

マイコーやゴローのサポートの立場でいた。

それが私の役目だから。

しのぶ

まりあさん、いつも座長と一緒にいたよね。

座長も、まりあさんのこと、よく「ファミリア」って呼んでたし。

・・・久々にファミリアって呼ばれた。

桜田まりあ だから、サクラダ・ファミリアって

まりあ

オヤジギャグだよ。

でも、マイコーはいつもニコニコしながら

ファミリア、ファミリアって言ってた。

しのぶ

この劇団の聖母さま、マリアさま、だから、ファミリア。

おお、ファミリア。

そなたはカトリハナビにとって、命の教会。

今日も愚かな私ども役者の魂を救いたまえ

まりあ

安心なさい。

演劇の神はあなたを救いもしないし、地獄にも落とさない。

救われるも、落とされるも、あなた次第。

お客様を前にして、恥ずかしくないよう、ふるまいなさい。

## 二人、ちよつと笑う。

しのぶ

まりあさま、わたくしは懺悔いたします。

まりあ

はい。どうぞ。

しのぶ

わたくしは、いま、本番を目の前にして

この公演を中止させようとしています。

これは、この公演を待ち望んでいるお客様にとって、

恥ずかしいふるまいであることは十分わかっております。

ただ、わたくしは、これ以上に恥ずかしいことがあります、

このようなことをする決意に至ったことをお分かりいただきたい。

この公演をやめること以上に恥ずかしい事とは？

まりあ

この公演をやること。

まりあ

えっ？

しのぶ

この公演は、お客様の前に出して恥ずかしくないものなのか？

いや、それより前に本当にやりたいのか？

自己満足とか、しがらみとか、自己肯定とか、

まりあ  
しのぶ

お客様にとつては「それが問題か？」って言われそうなそんな、ちっぽけな、だけど私たちにとつては大きな事。互いに分かち合うこともなく、覚悟も整理も反省もなく、私たちは本番の今日を迎えてしまった。

うん。いや、頭ではわかってるんだよ。

ゴローさんも、ゴローさんで、舞台監督だけで大変なのに急に座長代理をやることになってテンパってるのも。

でも、そんな違和感があるのに、

座長が亡くなる前と同じような雰囲気であろうとしている。

これって、いいこと？ 悪いこと？

どっちだろうね。私も稽古場でその違和感があった。

みんな、あえていつも通りにしようって

雰囲気がいつの間にかできてた。

ゴローはそれで安心してたから、

私もそれでいいって考えてたのかも。

よかった。まりあさんも気づいていたんだ。

もしかして、この違和感があったから？

うん。ブレーキ思いつきり、踏んでみました。

そっか。そして、みんなは吹っ飛ばされたわけね。

ポーションとね。

実に迷惑な話。

ですな。

でも、マイコーはそれでも笑っているだろうね。

ほんと？ほんとに座長はそれでも笑っているかな？

笑ってる。だって、よく言ってたよ。

「しのぶが何の遠慮もなく、勇気をもって選択する姿を観たい。

そして、この劇団を、みんなを導く姿を見てみたい」って。

だから、私は今回の公演中止は考えなかった。

私もしのぶのハムレット観たかったし。

知らなかった。

しかし、想像の斜め上だったな。

みんなを導くのはいいけど、公演中止の方向とは。

ごめんなさい。

謝るくらい覚悟なら、やめなさい。

むしろ、私たちを戒めるくらいじゃないと。

はい。

ポンコツだけど、ゴローに愛想つかさず、

マイコーと同じように まっすぐ向かってあげて。

座長って、ほんと偉大だ。

しのぶ

まりあ

しのぶ

まりあ

しのぶ

まりあ

しのぶ

まりあ

しのぶ

まりあ

しのぶ

まりあ

まりあ そう、だから、私には無理。  
しのぶ それって、ズルくない。  
まりあ 生き延びるための知恵と言って。

だいすけ の 悲鳴が突然 きこえる。  
だいすけ テーブルの下から顔を出す。  
まりあ、しのぶ だいすけ に気づく

まりあ 何？

しのぶ だいすけさん？ どうしたの？

だいすけ こ、腰が・・・

しのぶ なんて、こんなところにいるの？

だいすけ いや、ちよつと、ここで、聴き耳立ててただけど、

無理な姿勢をキープしすぎて、ぐうたあ！

しのぶ まったく。

まりあ うちの男どもは。

だいすけ とりあえず、助けて。

あ、でも、動かさないで。

あ、でも、やさしくね。

それと・・・

まりあ しばらく、ほっときましょ(溜息)

だいすけ を放置して去る二人。

ひとり残されるだいすけ。そして、テーブルの下に沈む。

そこにマダムたちが買い出しを終えて帰ってくる。

たくさんの酒瓶、缶、おつまみ。

マダム さてと、始めましょうかね。

女将 これが楽しみなのよ。

ママ 楽屋で開くパーティー

マダム あら、いろんなもの買ってきたのね。

女将 そりゃ、たくさんないと、寂しいもの。

ママ ここは魂の解放区にしないかね。

わいわい3人が宴会のセットアップをしていると、  
ひかりが入ってくる。手には例のボトル。

ひかり あー、ここにいた！ やっぱり買い出し行ってたんだ。

それに、なに？ ここで宴会やるつもり。

マダム そうよ。

ひかり  
マダム  
ゴローさんに見つかったらどうするの。  
どうつてことないわ。

ひかり  
女将  
終演後、即打ち上げできるよう準備しているって言えば。  
いや、ここ、舞台だから。ここで本番するの。

ママ  
ママ  
あら、そうだった。  
テヘペロ。

ひかり  
どうするの？

マダム  
マダム  
仕方ないわね・・・じゃ、3倍速で宴会始めるわよ。  
はあ？

女将  
早く始めて、早く終わらせる。これこそ働き方改革よね。

ママ  
ママ  
あら、ひかりちゃん、そのボトルは？

ひかり  
あつ、ママ悪い、一本もらっちゃった。

ママ  
いや、いいけど、かなり強いわよ、それ。

マダム  
あら、それはマズイ。ひかりちゃん、大丈夫。

ひかり  
大丈夫、大丈夫。それより、マダム。ちよつと話しを聞いて！

マダム  
いいわよ。でも、その前に

全員  
カンパーイ！

魔女たちの宴会がはじまる。

第6場

受付

受付 舞台から追い出された ゴローとしんちゃん

ゴロー すごい悲鳴だったな。

しんちゃん あれ、だいすけさんですよ。

ゴロー ありや、また腰やったな。

しんちゃん 痛そうーっ。

ゴロー なんで、あいつ、隠れてたんだ。

しんちゃん ひかりさんに、いいとこ見せようと思ったんですよ。

よくキングギドラでも、よかれと思って、

ありがた迷惑なことやらかしてましたから。

まったく・・・

ゴロー でも、どうなるんでしょうね？

ゴロー 何が？

しんちゃん いや、しのぶちゃんのことですよ。

まりあさんが、説得してくれればいいんですけど。

まあ、まりあならなんとか説得してくれるよ。

でも、説得できなかつたら。

ゴロー その時は・・・しんちゃん、頼んだ。

しんちゃん ゴローさん！

ゴロー じゃあ、この公演が無くなってもいいのか？

しんちゃん よくないですよ。

ゴロー だろ。

しんちゃん ボク、この公演はやり遂げたいから。

ゴロー そりや、しのぶとのシーンがあるからか？

しんちゃん えっ、な、何を言ってるんですか！

ゴロー いいって、いいって。わかってるから。

しんちゃん 何をわかってるんですか。

ちよつと 間

ゴロー しっかしな・・・オレ、しのぶに嫌われてるのかな？

しんちゃん いや、そんなことはないですよ。

ゴロー でもな。

しんちゃん なに、弱気になってるんですか。

よく、座長が言ってたじゃないですか。

「勇気を無くす事は死ぬ事も同じだ。

臆病者は何度も死ぬがいい」

ゴロー ジュリアス・シーザーか。

しんちゃん 勇気を持ちましょうよ。

臆病になったらそれこそ嫌われますよ。  
大丈夫ですって。

ゴロー

でも、好かれてるわけでもないしな。  
オレ、好かれてるか？

しんちゃん

えっ、そ、それは・・・  
だろ？

ゴロー

いや、しのぶちゃんは、あんまり態度に出てないだけで  
心の中は違いますよ。

しんちゃん

そう、きつとそうですよ。

ゴロー

そんなもんかい？  
そうですよ。

しんちゃん

しのぶちゃんはそんなに気易く態度には出しませんよ。  
そういう人です。

ゴロー

じゃ、お前は好かれてるのか？  
そ、それは。

しんちゃん

だろ？ わかんないだろ。

ゴロー

いや、わかんないわけでも・・・  
わかるのか？

しんちゃん

いや、  
本人に聞いたわけでもないだろう。

ゴロー

それは・・・  
ほら、弱気になっちまうだろ？

しんちゃん

・・・だったら、聞いてみれば、いいんですよね。  
えっ？

ゴロー

わからなかったら、聞く。単純なことです。  
そうなの。

しんちゃん

そうですよ。聞けばいいんですよ。  
なに、臆病になっっているんですか？

聞かなきゃ、わからないままですから。

大丈夫、まかせて！

決意をもって去る しんちゃん。

それを追い、ゴローも去る。

第7場 舞台

マダムたちが、舞台上で宴会を開いている。  
テーブルの上には、たくさんの酒瓶やおつまみ。  
ひかり 酒を呑みながら、マダムに愚痴ってる。

ひかり マダム、おかわり  
マダム ひかりちゃん、ちよつと大丈夫。  
女将 いくら強いっからって呑みすぎ。  
ママ 酒におぼれちゃダメよ。溺れていいのは、  
三人 オ・ト・コ・だ・け

奇声をあげて笑う、マダム、女将、ママ

ひかり とにかく、ほつといて。  
マダム でも、いいの？ 本番間近なのに、呑んじやって？  
ひかり それは、マダムたちも同じでしょ？  
マダム 私たちは、いつものこと  
女将 私たち女優だから  
ママ 呑まないとできないの

奇声をあげて笑う、マダム、女将、ママ  
ひかり それを冷ややかに見つっ、大きなため息

ひかり なんだろね・・・  
しのぶがね、  
「なんでそんなに単純に考えられるの？」って。  
私ってそんな単純？  
マダム そうね。単純か、複雑かと言ったら・・・  
女将 単純！  
ママ シンプル  
ひかり やっぱそうなの？ ショック。  
マダム 単純は悪くないわよ。素直ってことだから。  
女将 私も素直よ。  
ママ あんたは素直というよりは複雑骨折でしょ  
ひかり ちゃんとあの子のお姉ちゃんとして、  
マダム しつかりしなきゃって頑張ってたのに、単純って言われちゃった。  
ひかり しかも、仕事も結婚もそれで失敗してるってまで。  
マダム ひかりちゃんって、いいお姉ちゃんなのにね。  
ひかり そう？

マダム

いいお姉ちゃんよ。  
というか、いいお姉ちゃんを演じようって頑張ってる。  
まあ、それが単純に見えるのかもね。

マダム

しのぶちゃんがうちの劇団入るって時、  
まあ、落ち着きなかったというか  
なんかいろいろ考えこんでたっていうか  
迷ってたというか

女将

ママ

ひかり

女将

ママ

まあね。私が無理言って、劇団に来てもらったから、  
私がかちゃんと面倒見て、しっかり導いてあげないとして  
あるある。お姉ちゃんあるある。  
親からいつも「お姉ちゃんだから」って言われてるから、  
ちゃんとしなきゃってプレッシャー。  
それに、優柔不断だと、下の子も迷っちゃうから、  
つつい即断即決。

マダム

でも、それが下からは勝手すぎるって言われちゃうのよね。  
めちやくちや頼ってくる時もあるくせに、  
自分が気に入らないと責めたりするもんね。  
でも、かわいいから見捨てられないんだけど、  
あんたたちみたいに。

女将

ママ

マダム

ママ

女将

マダム

三人

ひかり

そう、三人で生きていきましよう。  
生きていかなければ・・・  
わたし、働くわ。  
ああ、妹たち。私たちの生活はまだおしまいじゃないわ。  
生きていかなければねえ（三人姉妹の世界に浸る）  
ほんと、生きていかないとね。  
何やりたいんだろ、わたし。  
あー、ほんと、恥ずかしいお姉ちゃんだ。  
でも、私もなりたくてお姉ちゃんになったわけじゃないもん。  
気が付いたらお姉ちゃんです、  
お姉ちゃんらしくしなさいって言われ続けたから・・・

ひかり 愚痴りまくる

ひかり

ずっと仲良くいたいもん。  
でも、あの子、引っ込み思案で心配で心配で  
つつい口出しちゃうもん。  
そしたら、うるさがられるもん。

嫌われちゃうもん。  
もんもんもん、

ひかり 泣き上戸モード突入

ひかり あー、死んじゃいたいくらい恥ずかしい。  
穴があつたら入りたい。  
だいすけ 元気を出して、ひかりちゃん。

だいすけが テーブルの下から現れる。  
全員、悲鳴。

だいすけ 驚かないで。こっちがびっくりする。  
マダム だいちゃん、何やってるの。  
だいすけ いや、腰やつちやつて、ここで横になってた。

全然気づかずに宴会はじめてるんだもん。  
ひどいよ、マダム！

ひかり 大丈夫？

だいすけ ひかりちゃん、心配してくれるの？  
ありがとう。

あ、触らないで。

いや、できたら、触って欲しいな。

いや、そんな気持ちじゃなく、

いや、やさしくして欲しいなって

マダム 黙って、寝てなさい

だいすけを テーブルの下に再び封印。

そこに、ゴロー、しんちゃん が入ってくる。

テーブルの上の宴会に目が行く。

ゴロー おい、そりやなんだ？

マダム ひかりちゃん、任せた！

ゴローの前で立ち、ごまかす、マダム、女将、ママ。

ひかりがあわてて宴会グッズをテーブルの下に放り込む。

ゴロー、ふとテーブルの下を見る。

テーブルの下から、酒瓶を抱えている だいすけが現れる。

だいすけ あ、ゴローちゃん。

ゴロー お前は本番中にも酒を呑むのか！

ゴロー 激怒。

その様子にビビる、マダム、女将、ママ、ひかり。そこに、まりあ と しのが 戻ってくる。

ゴローの様子に驚く二人。

ひかりは、しのをみて、テーブルの下に隠れる。そこに、まこが入ってる。

まこと しのがさん、何があったの？

しのが 私もわかんない。

ゴロー さあ、役者がそろったようだな。

やるべきか、やめるべきか、そろそろ決着をつけようか！

みんな、ゴロー を取り巻いている。

ゴロー なんだ、なんだ？

これ、オレがラスボスっぽくないか？

ゴロー まあ、いい。

そもそも俺が悪いんだよな。

信頼できない座長代理なんだろ？

でも、座長代理として、オレはこの劇団を守ろうとしたからだ。

みんなもそうだろ？

この中で、公演をやめた方がいいと思う奴、手を挙げてみる。

しのがだけ、手を挙げる。

ゴロー ほら。だからと言って、やめることもできないんだよ。

なんで、今なんだ？

文句があるなら、この公演終わってから、

好きなだけオレに言え！ 罵れ！ 呪え！

この中で、公演をやるに賛成の奴！

ゴローだけ、手を挙げる。

ゴロー えっ？ どうしてだよ。まりあ！

まりあ 私は中立。ゴローだけの味方じゃないから。

マダム 私たちはどちらでも良いの。

女将 どつちに転んでも、人生面白くなりそうだから。ねえ。  
ママ そうね。

まこと 自分は制作ですから、劇団の最終決定に従います。  
だいすけ (テーブル下から白旗降って)

ゴロー ゴローちゃん、ごめん。オレ、リタイヤ！  
いや、オレとしてはやりたいよ。でも、腰がね。  
や、やる気はあるんだよ。でも、腰がね。  
ゴロー うるさい！

だいすけ 白旗を下げる。  
ひかりは 隠れて覗いている。

ゴロー まったく  
しのぶ さあ、どうする？

ゴロー うろたえる。  
しんちゃん ゴローをかばって

しんちゃん しのぶちゃん！ しのぶちゃんはこう思っているんですか？  
この劇団のこと。  
そして、ゴローさんのこと。

しのぶ しのぶちゃんもいろいろ悩んでるだろうけど。  
ゴローさんも悩んでいるんです、こう見えても。  
おい！

しんちゃん しのぶちゃんは、ゴローさんをどう思っているんです。  
ゴローさん、自分は嫌われているって思っちゃって、  
悩みがさらにでかくなっちゃってるんですから。  
ちよつとつれないですよ。  
いや、しんやさん、私は別に・・・  
それに、ボクにもちよつとつれなくないですか？  
仮にも共演者ですよ。

しのぶ 稽古後、いろいろお話したいから、いろいろお誘いしているのに  
いつもスルーして、あんまりじゃないですか。  
ボクの気持ち知っているでしょ？  
えっ！

しんちゃん、好きです！ 大好きです！

ママ あら！

女将 まあ！

ママ なんと！

しのぶ しんやさん、待って。

しんやさんは、ひかりが好きじゃないの？  
よく、キングギドラに通っているから、そうじゃないかと  
違います。それはだいすけさんの方です。

しんちゃん ボクをだいすけさんと一緒にしないでください。

「将を射んと欲すれば先ず馬を射よ」。  
しのぶちゃんとお付き合ひするにあたり、  
まず、ひかりさんを味方につければと思っていたからです。  
てつきり、ひかりを狙っているもんだと思ってたから、  
だから私にいろいろ話しかけているかと。

しんちゃん さあ、誤解は解けました。

しのぶちゃん、あなたの気持ちをお聞かせください。  
ボクの気持ち、ご理解いただけましたか？

しのぶ ……ごめんなさい。

しんちゃん えっ!?

### 何かが壊れた音。

しんちゃん だって、しのぶちゃん、ボクのことをいつも「しんやさん」って  
本名で呼んでくれるじゃないですか？

みんなは、「しんちゃん」って呼んでるのに。  
てつきり、これは

しのぶ 「ああ、なんか意識してんのかな？」  
って思うじゃないですか？

しのぶ だって誰だって呼び捨てするのには抵抗あるし、  
だからって「しんちゃんさん」って呼びづらいから…

しんちゃん えっ？ じゃ、ボクは 意識・さ・れ・て・な・い？  
しのぶ うん。そういうのは、ないから。絶対。ありえない。

### 何かが完全に壊れた音。

呆然と立ち尽くす しんちゃん。  
ウケる三魔女。

ママ 会長、タオルを！ タオルを投げて！

女将 このままじゃ、しんちゃんが死んじゃう！

マダム いや、しんちゃんはもう死んでいる。

さらば、しんちゃん（三人黙祷）。

しんちゃん 生きとるわ！

ああ、恥ずかしい！ あー、死んじやいたいくらい恥ずかしい。  
穴があつたら入りたい。

だいすけ ようこそ、奈落の穴へ！

だいすけ、テーブルの下から、手招き。  
テーブルの下に潜り込む しんちゃん。

ゴロー なんだったんだ？ え？ え？

まりあ、コンテナから、  
水に偽装した酒のボトル、2本取り出す。

まりあ まったく、うちの男どもったら。  
ゴロー、これ飲んで、まず落ち着きなさい。

ゴローにボトル1本渡す。

まりあ はあ。見ているこちらの心臓にも悪いわ。

まりあ、ボトルの中(酒)を一気に飲む。

まりあ やだ、これ、酒が入っている？  
マダム うん、スピリタスってウオッカ。  
女将 一応水割りなんだけど、もともとアルコール度数95度だから、  
割ってもかなり度数高いけどね。

ママ ウオッカはロシア人にとっては、命の水。  
一同 生きていけないとね！  
まりあ ちよつと、待って。

スピリタスはポーランドのお酒だから。  
ポーランドは、あっちの方向……  
地球がぐるぐる回ってる。  
だれか、だれか止めて。

マダム、女将、ママ まりあを抱える。

マダム はい。奈落行き！

まりあ テーブル下に運び込まれる。

マダム あらまあ、なんてこと。この屍の山。  
女将 まあ、私たちもいつかこの屍に加わるのかしらね？  
ママ まあね。でも、それは百年先の話。

ゴロー 手にしたボトルを しのぶに渡し、  
テーブルのコンテナからもう1本ボトルを取り出す。

ゴロー

呑みたきや、飲め。  
飲まなきや、腹が割れねえ。

ゴロー ボトルの中をあおり、しのぶと対峙する。  
しのぶもボトルの中をあおる。

ゴロー

とにかく、この茶番を終わらさなきやいけねえ。  
終わらせなければ、次に進まねえ。  
やるか、やらないかは問題じゃない。  
このまま気持ち悪いまんまではいられないだろう。  
そうね。終わらさないとね。

しのぶ  
ゴロー

とはいえ、オレはお前たちみたいに  
自分の思っていることをうまく言葉にして説明できない。  
だから、単純にイエスかノーの質問をする。  
それに答えてくれればいい。  
イエスなら飲む、ノーなら飲まない。  
なに、それ？  
マイコーと呑んで口喧嘩になりそうな時は  
いつもそうやってたんだ。いいか？  
・・・

しのぶ  
ゴロー

しのぶ 飲む。

ゴロー

よし、わかった。

ゴロー 飲む。

ゴロー

じゃ、まずオレから。この公演を中止にしたい。

しのぶ 飲む。

ゴロー  
しのぶ

今度はしのぶの番だ。  
この公演を上演したい。

ゴロー 飲む。

ゴロー この劇団が好きだ。

二人 飲む

しのぶ この劇団をこのまま続けたい。

ゴロー 飲む。

ゴロー この劇団を終わらせたい。

間

しのぶ ほんと、ゴローさんのことが嫌いだ！

しのぶ だけ 飲む。

ゴロー おれはそれ以上にしのぶのことが嫌いだ！

ゴロー だけ 飲む。

しのぶ さらに、さらにそれ以上に、こんな自分自身が大嫌いだ。

二人 飲む。互いに気づく。

しのぶ あー。バカだ！

二人 飲む。

ゴロー 本当にバカだ！

二人 飲む。

しのぶ 座長がいなくて寂しい！

二人 飲む。

ゴロー 会いたい！

二人 飲む。

しのぶ 座長が好きだ！

二人 飲む。

ゴロー 今でも、好きだ！

二人 飲む。

しのぶ 劇団のみんなが好きだ！

二人 飲む。

ゴロー ずっと好きでいたい！

二人 飲む。

しのぶ あー、ようやく、ちゃんと言葉にできた。

いまさらながら恥ずかしいーっ！

だいすけ、テーブル下から手招き。

だいすけ こっち来る？

二人とも、無言で拒否。ひっこむ だいすけ。

しのぶ みんな傷ついているのは知ってるよ。

だから、傷ついているのに無理している姿は見たくない！

えっ？

悲しくて、悲しくてしかたないけど、

「前を向かなくちゃいけない」って無理してる。

トゲが刺さったままなのに、それを忘れようとしている。

ゴローさんだって、そうでしょ。

カラ元気が空回りしてガラガラ音を立ててる。

しのぶ・・・

そりゃ、やってみないとわからないよ。

幕を開けて、お客さんの笑顔を見たら、

そんなこと気にしなくなるかもしれない。

でも、今、こんなに自分がボロボロなのに、

整理ついていないのに、みんなとお芝居して、

無理して我慢して嘘の笑顔でお客さんに会うなんて、できない。

ゴロー

この劇団はマイコーが残してくれたもの。だから、オレはいつまでも大事に残したい。みんながマイコーの芝居の中で生き生きとしてくれたら、オレはそれでよかった。

しのぶ  
ゴロー

でも、オレがふがいないから、結局、生き生きどころか、みんなを不安にさせてしまった。不安だったら、不安だって言ってくれたら。お前だって、この土壇場でようやく言っただろうに。

間

しのぶ

ありがとう、ゴローさん。

ゴロー

何だよ？

しのぶ

ようやく、真つすぐ目を合わせて話してくれて。

ゴロー  
しのぶ

そんなことはない！（目をそらして）俺はいつも直球だ。そうなんだ。

ゴロー

しかし、終わりにするも何も、

もう、何人あそこ（テーブル下）にいるんだよ。

前代未聞だよ。本番直前で出演者たちがダウンって。

なんでそうなったんだろ？

ゴロー

お前のせいだろ？

しのぶ

でも、これだけ、素直になったのは、

ここに来てはじめてだったかも。

なんで最初っから、こうしなかったかな。

そりゃ無理だろ。

ゴロー

最初から素直な奴は、演劇なんか選ばないから。

しのぶ

そうかな？

そうだ。マイコーなんか、どれだけへそ曲がりか。

確かに。座長、この様子、見てるかな？

しのぶ  
ゴロー 静かに客席見つめる。

ゴロー

いるのかな？

しのぶ

いると思いたいね。

ゴロー

ちよっと待て、そういうのは苦手だ。

しのぶ

ほら、臆病になっている。臆病者は何度も死ぬ！

ゴロー、今一度、ボトルをあおる。

ゴロー

みんな、ご覧の通りだ。覚悟決めた！

この上演については、今一度考えなおす。  
そして、この劇団のことも同じだ。  
今まで、無理させて、すまなかった。  
意見があるものは、オレがまず話を聞く。  
それでいいか！

ゴローに無言で近づくマダムたち。

ゴローの手前で立ち止まり、ゴローの顔をじっと見る。

マダム

じゃ、呑みましょう！

女将

さあ、さあ、ゴローちゃんもこっち。

ママ

それとも、奈落に落ちる？

マダム

ゴローちゃんは私が好き。あれ、飲まないの？

女将

私が好きなのよね・・・あら？

ママ

いいや、ワタシよね・・・呑めよ。おら！

ゴローに群がる三人。

ふらふらになっている しのぶ。

まこと、奥からミネラルウォーターを持ってきて、しのぶに渡す。

まこと

しのぶちゃん、大丈夫？

しのぶ

あは、やっぱ酒はだめ。

まこと

しっかりとしてください。

しのぶ

こりや、ダメだな。酒の魔力はすごいな。

まこと

まことさん、ごめんね。公演中止にして。  
大丈夫ですよ。慣れっこです。

さて、これから、まず、ご予約のお客様にご連絡して、

公演中止のお知らせを、各所に流すとともに、

お詫びと、今後の進め方の文書を起こして、

中止にともなう損失の算出、

もう、やることいっぱい！

タフ！

しのぶ

良いも悪いもありやしない。考え方ひとつですから。

まこと

それに、公演やめても、劇団は無くなりませんから。

この劇団は、みんなや、

今まで見てくれたお客様の中に在り続けるんです。

そりや、忘れられたりもするでしょうけど、

それも自然の流れですから。

なので、忘れられたくないために、また舞台を作る。

どんなに下手でも、くだらない話でも、

まこと　どんなにろくでなしや人でなしが舞台に立っても、演劇の神さまも、そこは許してくれてるでしょ。忘却という自然の流れに逆らことは罪じゃない。まことさん、すごい。なんか、演劇の伝道師みたい。しのぶちゃんもその伝道師の一人ですよ。

まこと　いや、舞台の上に立つのですから、神さまかも。いやいやいや。

しのぶ　しのぶちゃん、演劇好きですか？

まこと　演劇全般というよりは、しのぶちゃんの中にある演劇。私の中？

まこと　はい。この劇団の中で過ごしていく中で、いろんなことがあったと思います。

しのぶ　それを経て、いま、演劇、好きですか？うーん。

まこと　座長言っていました。

しのぶ　早く、しのぶちゃんがそれに気づいてくれたらなあつて。それが楽しみだつて。そっか・・・

### しのぶ　大きな声で

しのぶ　わたし、演劇好きだ！

### しのぶ　飲む。次いで、周りのみんなも飲む。

しのぶ　大好きだ！

### しのぶ　飲む。次いで、周りのみんなも飲む。

しのぶ　人でなしで、ろくでなしで、バカで、スケベな仲間たちといっしょにわちゃわちゃしてやる　演劇好きだ！

### みんな　飲む。大笑いする　しのぶ

しのぶ　座長はもういないのに

この「カトリハナビ」は残っている。

座長はもういないのに

なぜかみんなは演劇を続けている。

座長はもういないのに

この芝居の幕が閉じようとしている。

しのぶ よーし、やめた！ やめた、やめた、やめた！

まこと 何をですか？

しのぶ やめるのやめた。公演、やるぞ！

ゴロー しのだ！

しのぶ みなさん、すみません。

こんな事態になってしまっているのは、私の責任です。

でも、こんな事態だからこそ、みんなで演劇やりたいです。

みんなとこんな風に、いろいろ話し合いたいです。

演劇が好きなのも、この劇団が好きなのも、

今頃になって、そんなことに気づいた愚かものですが、

ぜひとも、ぜひとも、こんな状況だからこそ、はじめたいです。

みんな だまっている。

沈黙のプレッシャーが押し寄せる。

そして、みんな、静かにボトルの水を飲む。

しのぶ ありがとうございます。ありがとうございます。

ゴロー だが、ここにいるやつ、ほとんど酒飲んでるぞ。

しのぶ これでいいのか？

何を言う。呑んでやつちやいけないって法律があるのか？

役者に免許がいるのか？

飲酒していいのが、暴走しようが、

お客様が無事ならば、演劇の神さまは許してくださいさるでしょ。

まこと あらあら

しのぶ あー、とんでもない恥さらしだ。

ひかり こんなお客様に知られたら、恥ずかしさで死んじゃう。

しのぶ じゃ、こっちにくる？

いや、奈落の魑魅魍魎、ゾンビもまとめて、こっちに来やがれ！

まばゆき光あふれる、未知の演劇の世界へ！

機械仕掛けの神が降臨したかのごとく、

派手な照明と音響が世界を包む。

第8場

カーテンコール

狂言回し 現れる。

狂言回し

これが、あの伝説の舞台となった  
「劇団カトリハナビ シン・ハムレット初日」の  
舞台裏で起こったお話です。  
これが本当なのか、嘘なのか、信じるか、信じないかは  
お客様にお任せいたします。

狂言回し

我ら役者は日陰者、  
お見苦しきはひとときの夢を見たとお許しを。  
名も知れぬ劇団のお芝居で  
支離滅裂な夢ですが  
そこはお心広く許してくださいれば  
我らは明日へと進めます。  
嘘つきなんかじゃありません。  
ちよつと素直になれないだけです。  
よかつたら、また会いに来てくださいね。

狂言回し

さて、ここでわたくしのご案内も終わりでございます。  
終わりよければ、すべてよし。  
さあ、かくも愚かで恥さらし  
頭足りないのに、情熱はあふれんばかりの  
役者たちの登場です。  
みなさま、拍手でお迎えください。

音楽流れる中、役者一人一人が挨拶をする

狂言回し

オフィーリア役 ひかり

狂言回し

ポローニアス役 だいちゃん

狂言回し

レアティーズ役 しんちゃん

狂言回し

ホレイショー役 まこと

狂言回し

フォーティンブラス役 他 マダム

狂言回し

ローゼンクランツ役 他 女将

狂言回し

ギルデンスターン役 他 ママ

狂言回し

クローディアス役 ゴロー

終わり無ければ すべて無し

狂言回し ガードルード役 ファミリア

狂言回し そして、ハムレット役 しのぶ

しのぶ、頭を下げる。その瞬間、音楽 止む

しのぶ 作、演出、

そして、劇団「カトリハナビ」初代座長

マイケル若村 こと 若村麻衣子

狂言回し

しのぶ、これは私の作品じゃない。

あんたの、そして、みんなの作品だ。

私の声は聞こえないだろうけど、これだけは言わせて。

ほんとに、ほんとに・・・

全員 ありがとうございます。

音楽 鳴り出す。

閉幕。舞台から去る役者たち。

最後に観客に一礼して、狂言回し 去る。

おしま